

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 連携事業進捗状況調書

連携中枢都市圏ビジョン懇談会
令和4年7月22日

ア 圏域全体の経済成長のけん引

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
1	ビジネスサポート体制検討事業	圏域全体の起業支援、産業育成のためのビジネスサポート体制の検討を進める。	<p>【鳥取市】ビジネス課題を有する企業に、外国人留学生等の受け入れを実施し、課題研究を行う「外国人留学生就労支援事業」を実施している。新型コロナウイルスの影響により、インターンシップでの外国人留学生等の受け入れは実施できていないが、事業者向けの高度外国人材活用セミナーをオンラインで実施したほか、影響が落ち着いた受け入れを実施できる環境になった際に備え、本事業の周知活動を実施した。</p> <p>外国人留学生地域就労支援事業・・・高い語学力や優れた国際感覚を有する外国人留学生に、圏域の経済成長を担う貴重な人材として定着・活躍してもらうことで、企業の国際競争力の強化や、新たな市場開拓・取引機会となる海外展開を促進。圏域の事業者と外国人留学生に対して準備セミナーや補助金支給などの併走型支援を行う。</p> <p>【八頭町】起業機運醸成セミナー…新型コロナウイルス感染対策によりオンライン開催。</p> <p>【若桜町】企業誘致環境及び企業内コミュニケーションの向上を図るため、外国人就労者を雇用する事業者に対し、日本語講座・日本語検定にかかる費用を助成。→新型コロナウイルスの影響により外国人就労者が入国できず日本語講座は未実施。</p>	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	ビジネス課題事例研究数 (件)	0	4	3
2	起業・創業支援事業	民間の創業支援事業者（地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等）と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業等の創業支援を実施する。	<p>【鳥取市】鳥取県東部圏域の自治体・民間事業者で連携して創業支援等事業を行った。まちづくり融資～リノベーション創業型～、リノベーション型まちづくりファンドによる投資により、まちづくり事業に対する支援を行う。</p> <p>R4.3末現在 まちづくり融資活用0件(累計6)、まちづくりファンド活用0件(累計2)</p> <p>【岩美町】岩美町商工会と連携して創業者に対する事業計画策定支援、創業補助金の交付を行った。R3年度実績50万円×3件</p> <p>【若桜町】新規創業・開業支援補助 H29:2件200万円 H30:2件200万 R1:3件295万円R2:4件312万円 R3:1件100万円</p> <p>【智頭町】新規創業・開業支援 R3実績見込3件 1,500千円</p> <p>【八頭町】出る杭を伸ばす事業者応援補助金（起業創業型）交付申請数12件</p> <p>【香美町】香美町商工会と連携して創業支援セミナーを開催（年5回）し、企業者に対しての補助金を交付する50万円/1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援セミナー 6/7～6/28(座学4回) ・個別相談 6/7～7/7(延べ12回) ・ワンストップ相談窓口 香美町商工会(通年実施:35件) ・起業・創業支援事業補助金 1件:500千円 <p>【新温泉町】・創業セミナー 9/7～10/5 全5回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ相談窓口 新温泉町商工会(通年実施)、サンシーホール浜坂(毎月第2・第4木曜日)で実施 ・起業支援補助金 	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	創業者数 (人)	115	115	109
3	圏域内の事業者に向けたセミナー開催事業	圏域全体の事業者を対象に、生産性向上、販路開拓、ワーク・ライフ・バランスなどさまざまなテーマで経営改善等につながるセミナーを開催する。	<p>【鳥取市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若手社員職場定着促進事業研修 計6人 (2/25) ●人材確保促進事業セミナー 計30人 (7/14 25人、10/26 5人) ●働き方改革セミナー 計16人 (7/20 10人、11/24 6人) ●中小企業大学校サテライトゼミ 未開催 <p>【岩美町】ビジネスマッチングセミナー等 4/23開催3名、7/26開催3名、8/25開催2名、9/2開催5名、9/7開催1名、10/21開催3人 合計17名参加</p> <p>【香美町】ワーク・ライフバランスの推進により働きやすい職場環境を創出しようとする企業へのセミナー経費等の支援を計画。コロナの影響も考慮しつつ、働き方改革セミナーの開催を計画(実施なし)。</p>	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	セミナー参加者数 (人)	75	127	69
4	地域商社活用事業	営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能を持ち、既存商品・産品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源を圏域外へ販路開拓・拡大することを目的とした商社事業を展開する。	<p>■圏域の農水産物や食品加工品を中心に圏域外への販路開拓と販売を行う商品流通事業を実施。新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い、昨年度に引き続き県外出張を大幅に制限。ウェブによる商談を活用するほか、圏域産品の有力な受入先となりうる小売事業者を選択の上、集中的に商談を重ねた。（麒麟のまちの店舗職員による周辺事業者との商談を進めた）</p> <p>■地域事業者の技術を掛け合わせることに伴った新商品の開発や既存商品のリニューアル、パッケージング開発商品開発事業を実施。開発商品を事業者による直販および当社による卸売により流通させたほか、地域商社ととりが運営を受託している「麒麟のまち」店頭での販売を実施した。</p>	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	新規取引業者数（生産団体も含む）	10	29	9

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
5	関西事務所運営事業	関西事務所において、鳥取県関西本部などとの連携を図りながら、関西圏や中四国、中京圏域などにおいて、鳥取・因幡圏域の広報宣伝活動や企業訪問等を実施する。	関西事務所において、企業誘致推進、観光情報発信における企業訪問を行った。 【鳥取市】72件 (3月31日現在：企業誘致訪問54件+観光情報発信18件) 【八頭町】72件 (3月31日現在：企業誘致訪問51件+観光情報発信21件)	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	企業訪問件数 (件)	60	80	144
6	広域的道路網整備促進事業	関係市町と連携し、圏域内の山陰近畿自動車道の未整備区間の早期整備、鳥取自動車道の付加車線及び志戸坂峠別線バイパスルートの早期整備、美作岡山道路の延伸等を促進するため、関係機関に対する要望活動、啓発活動及び道路整備の際の環境整備を積極的に実施する。	【道路関係3期成会 (山陰道、鳥取道、山陰近畿自動車道)】 5月31日 道路関係3期成会総会 ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、web開催 7月13日 鳥取河川国道事務所・倉吉河川国道事務所への要望活動 7月15日 中国地方整備局への要望活動 (広島) ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、webによる実施 10月13日 国土交通省、財務省、地元選出国会議員への要望活動 (東京) ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、webによる実施 【美作岡山道路北部延伸】 7月20日 中国地方整備局への要望活動 (広島) ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、web実施 8月24日 国土交通省への要望活動 (東京) ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、web実施 ●連携による効果・成果 要望活動の実施等により道路整備が推進された。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	要望活動数 (回)	4	7	6
7	森林保全推進事業	作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等により、健全な森づくりを推進する。	【鳥取市】作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等に要する経費を支援中 作業道開設L=47,763m、林業専用道開設L=600m、間伐面積A=262ha 【岩美町】作業道の整備や間伐等に要する経費を支援 (令和4年3月に事業主体へ補助金交付) 作業道開設L=15,782m、間伐面積A=143.01ha 【若桜町】作業道開設 L=13,473m、間伐面積 A=91.82ha 【智頭町】作業道開設10,257m、間伐面積12.00ha 【八頭町】作業道整備23,973m、間伐面積129.42ha 【新温泉町】作業道開設補助4,735m 間伐面積74.44ha 【香美町】作業道開設補助2,467m 条件不利地間伐等198ha	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	鳥取・因幡圏域の間伐面積 (ha)	1,416	1,671	910
8	林業従事者支援事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るための支援を行う。	【鳥取市】林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成。(県：1/4、市：1/4) 【岩美町】○林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの町内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成する。(県：1/4、町：1/4) ○公益財団法人鳥取県担い手育成財団へ共済年金掛金、年末一時金支給の一部を助成。 【若桜町】林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るため、社会保険掛金等経費を町助成。また、大学生等が借り入れた奨学金の返還額の一部を町助成。その他、林業労働者福祉向上推進事業による市町村負担分を負担。 【智頭町】林業労働者の雇用条件の改善を図るため、健康保険料及び厚生年金の一部を支援する。 【八頭町】○鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金 (雇用条件改善事業 (社会保険料掛金助成事業)) により、町内在住の林業労働者 (雇用開始から5年以内) の負担する健康保険料及び厚生年金を補助する。(県：1/4、町：1/4) 令和3年度は補助対象者5名に対し、973,654円を補助した。 ○林業労働者福祉推進事業費補助金による市町村負担分を324,794円負担し、林業労働者の確保及び就労条件の改善に寄与する。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	林業労働者雇用条件改善事業実施者数 (各年毎健康保険・農林年金への補助者数) (人)	43	43	36

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
9	稚貝・稚魚放流事業	内水面や沿岸における稚貝や稚魚の放流や資源管理を図る。	<p>【鳥取市】・内水面漁業協同組合等が行う稚魚放流に要する経費を支援。(放流量3.85t) ・沿岸漁協が行う放流支援を実施中</p> <p>【岩美町】稚貝・稚魚の放流 アワビ 27,000個、サザエ 17,000個、キジハタ 2,226尾</p> <p>【若桜町】ヤマメ稚魚約3,000匹・イワナ稚魚約2,800匹を11月上旬に放流。</p> <p>【八頭町】ヤマメ稚魚約3,000尾の放流を行った。</p> <p>【香美町】内水面事業＝アユ1,100kg、ウナギ種苗30kg、ヤマメ19,000尾、イワナ3,000尾 海水面＝クロアワビ8,600個、サザエ20,000個、カサゴ5,000尾、キジハタ2,000尾</p> <p>【新温泉町】 内水面事業＝鮎稚魚700kg、ウナギ稚魚5kg、モクスガニ150kg、ヤマメ成魚100kg、フナ稚魚1,000匹、サケ発眼粒50,000粒、サクラマス発眼粒50,000粒 海水面＝クロアワビ6,200個、カサゴ6,000尾、ヒラメ100,000尾、マダイ200,000尾、キジハタ1,500尾</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	放流数 (トン)	7.075	6.485	7.315
10	漁業雇用促進対策事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、漁労技術の習得研修や漁業への就業支援を行い、就業者確保を図る。	<p>【鳥取市】鳥取県漁業協同組合等が海面漁業への就業を希望する者に対して行う漁労技術等の習得研修に要する経費を支援。(雇用型2名、独立型5名)</p> <p>【岩美町】研修生(沖合底びき網漁業及び定置網漁業 雇用型:16名、独立型:1名) *1月以上研修を実施した者の数</p> <p>【新温泉町】研修中止</p>	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	研修実施者数(各年毎)(人)	52	52	24
11	特産品生産促進支援事業	白ネギの特産化を図るため、東部圏域で行う生産・販路拡大に対して支援する。	<p>【鳥取市】 白ネギのほか、アスパラガスやブロッコリーなどのJA鳥取いなば管内で生産拡大を図るため、アスパラガスやブロッコリーなどのJA出荷に対する奨励金を交付するなど、農業者の負担軽減を図った。</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	白ネギの作付面積 (ha)	60	76	49
12	農産物販路拡大支援事業	農産物の新たな販路の強化・拡大を行い、圏域農産物の販売促進を図る。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により対面形式でのマルシェの開催が困難であることから、その代替として従前の顧客等に対して農産物や加工品を宅配便(野菜、果樹)として配送することによりPRを行ったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる米の需要回復を図るため、岡山県などで米の消費拡大に向けたPRを行った。</p> <p>また、同様の理由により商談会の開催も困難であったため、商談会の代替として(株)地域商社ととりが個別に取引先等を訪問又はWebによる商談(野菜、果樹)を実施した。</p>	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	関西圏での合同直販市の開催(回)	1	2	0
13	地域おこし協力隊導入事業	三大都市圏等から地域おこし協力隊員を招致し、地域活性化に係る諸課題の解決と後継者確保対策を推進する。また、隊員のネットワーク促進など隊員の活動充実に向け、圏域情報の共有と連携を推進する。	<p>【鳥取市】吉岡温泉地区活性化(1名)、中心市街地活性化(1名:8月末まで)、用瀬地域の伝統行事の後継・育成(1名)、河原町西郷地区文化芸術活動を通じた活性化(1名)を配置 ※内、中心市街地活性化(1名)は退任済。</p> <p>【智頭町】8名の地域おこし協力隊を配置。自然栽培(2名)、原木椎茸(2名)、林業(1名)ジビエ振興(1名)、観光PR(1名)、文化財振興(1名) ※内、自然栽培(1名)、原木椎茸(1名)、ジビエ振興(1名)、観光PR(1名)は退任済。</p> <p>【八頭町】鳥獣対策部門(1名)、道の駅はつとうにおける特産品販売、振興(1名)、観光情報発信、移住定住部門(1名)、観光協会を拠点とした観光振興推進(1名)</p> <p>【岩美町】きなんせ岩美(1名)、農業振興(1名)</p> <p>【若桜町】農業振興(1名)</p> <p>【香美町】高校支援教育コーディネーター(1名)、移住就活コーディネーター(1名)、小代内水面漁業承継業務(1名)を配置</p> <p>【新温泉町】但馬牛生産振興(1名)、観光振興支援(1名)、温泉振興(温泉活用)(2名)、温泉振興(店舗運営)(4名)、地産地消推進(1名)、地域振興(1名)を配置</p> <p>情報交換会の実施を検討していたがコロナ禍の中実施できていない。今後は、オンライン(ビデオ会議)などを活用して情報交換会の開催を検討している。これにより、圏域内隊員のネットワーク化の支援と情報共有の促進を図っていきたい。</p>	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	地域おこし協力隊配置数(人)	43	38	32
14	農業担い手育成塾運営事業	鳥取・但馬圏域内の新規就農者及び関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・みらい農業ねっとわく」を創設し、以下の事業を実施する。 (1) 情報共有(携帯メール配信等) (2) 研修・情報交換会の開催(座学研修、圃場研修、事例発表等)	<p>【鳥取市】 鳥取県農業改良普及所・JAと連携した新規就農者のほ場巡回により、新規就農者の営農状況を行った。また、鳥取市農業公社と連携したスマート農業機器のデモンストレーションやスマート農業機器の導入支援を行うなど、若い生産者に対し、スマート農業機器のPR及び普及促進を行った。</p>	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	登録会員数(人)	0	102	0
15	農業IT化促進事業	鳥取・但馬圏内の自治体及び農工商関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・スマート農業推進会議」を創設し、以下の事業を実施する。 (1) 情報収集・発信(メール配信等) (2) 研修・情報交換会の開催(座学・圃場研修、事例研究等)	<p>【鳥取市】 鳥取県農業改良普及所・JAと連携した新規就農者のほ場巡回により、新規就農者の営農状況を行った。また、鳥取市農業公社と連携したスマート農業機器のデモンストレーションやスマート農業機器の導入支援を行うなど、若い生産者に対し、スマート農業機器のPR及び普及促進を行った。</p>	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	研修会延べ参加者数(人)	0	110	11

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I			
					指標(単位)	基準値(H28)	目標値(R3)	R3年度末
16	麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	日本遺産の認定により、圏域に受け継がれる麒麟獅子舞の魅力を情報発信、普及啓発し、圏域の活性化につなげるとともに、保存会等とも連携を図り、麒麟獅子舞の次世代への保存・継承を図る。 ・麒麟のまち連携コンセプト等について域内住民への浸透を図る ・博物館や展示施設での麒麟獅子関係巡回展の実施 ・その他麒麟獅子舞の情報発信、普及啓発につながる各種取組の実施	【日本遺産「麒麟のまち」推進協議会事業】 ○情報発信：国内向けプロモーション活動 ・全国版旅行雑誌へのストーリー及び麒麟獅子舞などの記事掲載 インバウンド向けプロモーション活動 ・台湾向け鳥取市ホームページへ日本遺産「麒麟のまち」ページを制作 ・欧米向け動画制作、配信 ○普及啓発：麒麟獅子舞の観光体験プログラム化事業 ・各市町の観光施設、各種イベントなどでの麒麟獅子舞の演舞 ・子ども向け麒麟獅子舞の披露及びワークショップ開催 ・デジタルスタンプラリーの開催 ・モニターツアーの実施 ○その他：麒麟のまち圏域内外でのPR活動	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年：4,159千人
17	麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟のまち圏域での広域連携によるエリアプロモーション事業を展開し、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。また、マスコミ・メディアの本社が集中する首都圏において、各種情報の発信を行い、圏域の認知度アップ、イメージアップを図る。	【鳥取市】 新型コロナウイルス感染症の対策として、大阪府より休業要請により4月26日～5月31日の間完全休業。緊急事態宣言中は、飲食部門は休業。6月以降、時間短縮・土日祝休業などの措置を行っている。 ・とっとり旬菜マルシェ(旬の農産物・加工品の宅配事業)毎月1回(7月～2月) ・麒麟のまちアートワークショップ 毎月1回(4月、6月～8月) ・ジオパークPR企画(ジオパークの景色を店内及び外壁のモニターディスプレイで紹介) ・「麒麟のまちPRキャンペーン」7月～2月(麒麟のまち圏域日本酒と食品のセット販売等) ・「松葉がにフェア」11月～12月(松葉がに漁解禁にあわせて、期間限定で松葉がに料理の販売) ・とっておきいちごのPRイベント2月下旬～3月上旬実施 ・地元食材の販売促進事業として他店舗へ麒麟のまち圏域の食材をPR。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年：4,159千人
18	インターネットショップ事業	圏域内の物産のイメージアップやブランド化のため鳥取市が運営するインターネットショップ「とっとり市(いち)」への出店を麒麟のまち圏域に拡大し、圏域一体となった物産の振興を図る。	「とっとり市(いち)」関連規約を変更し、麒麟のまち圏域からの出店および生産された商品の取扱いを可能とした。 圏域出店店舗数 32店舗 商品数 361商品	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	出店店舗数(店)	110	146	188
19	鳥取市公設地方卸売市場再整備・活用事業	鳥取市公設地方卸売市場の再整備を行い、食品流通の拠点としての機能を強化することで、圏域全体の事業者の市場の活用を促進し、市場の取扱高を増加させ、圏域全体の経済成長をけん引する市場とする。	鳥取市公設地方卸売市場の再整備により、圏域の食品流通の拠点としての機能強化を図り、圏域の事業者の市場活用を促す。 令和7年度での全面供用開始を目標に、参加事業者との調整を行い、令和3年度に再整備に係る事業促進のため事業協力者の参画を得、施設配置計画等の提案を受け、市場参画事業者との合意形成を行うことに併せ、設計・施工の性能発注に向けた要求水準書等の作成のため、アドバイザー業務・土壌汚染調査業務・地盤調査業務・アスベスト確認業務の委託を行い、各種書面を作成した。	C：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は小さい	取扱高(千円)	8,561,077	7,340,755	7,145,773
20	物産振興体制強化事業	特産品及び伝統工芸品等の販路拡大を図るため、鳥取市観光コンベンション協会に物産機能を整備するとともに、民芸や加工品を展示・販売する物産展へ出展し、PR販売を行うことで物産事業の振興・観光事業の発展・地産地消の推進を図る。 ※令和3年2月時点で、1市4町(鳥取県岩美町・若桜町・智頭町・八頭町)に所在地があることと限定している観光コンベンション協会の物産会員を、令和3年度は2町(兵庫県香美町・新温泉町)の追加を検討していく。	観光コンベンション協会の事業として、物産会員数を増加させるとともに、その会員から商品を受け、店頭販売、出展販売、掛売・客注販売及びネット販売を行う。 ・まちバル鳥取に、ふるさと物産館を設置 ・物産展へ出展 【令和3年度実績】 物産会員数 102会員(R4.3.31時点) (令和3年度 新規会員 5会員、退会会員 2会員) 物産展への出店 4回 県内 1回(対面販売) 県外 3回(商品委託等) ※新型コロナウイルス感染症の影響により県外での現地出展はなし。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	ふるさと物産館での購入客数	10,251	12,627	6,936
21	駅前太平洋線バード・ハット利用促進事業	麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に関わるイベント(行政系)等をバード・ハットで開催する際は使用料を免除し、交流人口の増加を図る。	●開催実績(来場者数) 1件(2,700人) 【10月9、10日】山陰三ツ星マーケット内出展「若桜町フェア」：新鳥取駅前地区商店街振興組合	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	利用回数(回)	0	2	1

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
22	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」支援事業	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」が行う鳥取・因幡圏域の観光素材の開発・普及及び県内外への観光広報宣伝活動の実施を支援する。 ※鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町のDMO設立による拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●圏域マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・観光庁が選定する「重点支援DMO」として昨年に続き2年連続選定。 ・麒麟のまち観光局独自のWEBアンケート調査を実施、2,157件の回答が得られ年間目標の2,000件を達成。得られた調査結果は観光消費拡大に向けたプロモーション等に活用する予定。 ・「観光地としての強み」や「地域の連携度合い」を図るため、圏域内の多様な関係者を対象としたアンケート調査 (D-NEXT) を実施。分析結果は次年度以降の事業へ反映。 ・鳥取市観光コンベンション協会ホームページリニューアル事業を受託。令和3年11月1日にリニューアルし、圏域各町の情報連携に向けデータベースを整備。 ●コンテンツ・流通整備・受入環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度中に圏域内で新たに造成した観光体験メニューの販売促進のため、インターネット販売サイトを通じたプロモーション事業を実施。(期間: 8/2~8/19、集客数: 100人) ※新型コロナウイルスの感染拡大のため早期終了 ・新たに整備された鳥取市観光コンベンション協会ホームページへ観光体験や宿泊の予約メニューを整備済み。(「旅くら」「アソビュー」のエリアゲート機能を導入) ・観光庁事業「新たな旅のスタイル促進事業」の採択を受け、商工関係者とともにワーケーション事業を推進。滞在中の観光コンテンツの開発を進めている。 ・アフターコロナに向けた圏域のファンづくりを進めるため、10月23日(土)にオンラインツアーを実施。(参加者100人) ●その他事業 <ul style="list-style-type: none"> ・若桜鉄道、智頭急行、大江の郷など圏域の民間事業者のコンサルティング事業を実施。 	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年: 4,159千人
23	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会支援事業	各市町が連携し、国道29号周辺地域の活性化のための情報発信やイベントの開催、沿線整備を行う。 ※日本風景街道新因幡ライン事業の実施に伴う拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年6月30日に国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会総会(書面決議)承認 ●令和3年6月30日に日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会総会(書面決議)承認 ●新因幡ラインインスタ投稿キャンペーン(令和3年8月1日~令和4年1月31日) ●福ロードドライブスタンプラリー(令和3年10月1日~12月31日) ●ニクロード推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 沿線のジビエ等をPRするイイニク感謝祭(令和3年11月27日、28日及び12月4日、5日) ●「まっふるドライブ絶景&グルメ関西・中国四国'23」掲載(令和4年1月) 	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年: 4,159千人
24	鳥取自動車道活性化協議会支援事業	鳥取自動車道活性化協議会が行う因幡連携事業やフォトコンテストなどのPR事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年9月3日に通常総会(書面決議)承認 ●フォトコンテストの過去応募作品(第1回~11回、約5,000枚)の地域別等分類作業 ●地元高校生による地域の取材及び動画制作(八頭町)1分30秒動画×3本 ●写真共有Webサイトの制作 ●観光冊子TORIVELERの制作 ●YouTubeの開設及び情報発信 ●Instagramの開設及び情報発信 	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年: 4,159千人
25	外国人観光客受入事業	各市町が連携し、外国人観光客の誘客や受入環境の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾でのプロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・Facebookでの情報発信(年間) ・4/15~5/15鳥取市観光情報PRホームページ内で投票イベントの開催 ・9/12鳥取市観光オンラインセミナーの開催・Facebookでの生配信 ・台湾大手ニュースサイトでの記事掲載(2月掲載) ・鳥取市観光セミナーの開催(2/19開催) ●受入環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光客サポートセンターの運営(外国人観光客案内所として、英・中・韓スタッフ5名を配置) ・多言語観光パンフレットの制作 ●羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘客事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・OTA旅行商品販売サイト情報更新 ・Facebook・Instagramでの情報発信 	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	国際観光客サポートセンターの利用者数(人)	10,000	12,500	354
26	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	因幡・北但西部圏域を周遊するバスツアーの企画及び運行の支援を行う。 ※既存コースの見直しと新規コースの開発による拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取・因幡を周遊するバスツアー(5コース、9便) <ul style="list-style-type: none"> ・東コース(国府) <ul style="list-style-type: none"> 7/17(2便) 催行 ・南コース(佐治) <ul style="list-style-type: none"> 10/8・10/22 催行 ・西いなばコース(かちべ) <ul style="list-style-type: none"> 11/6・11/13 催行 ・南コース(鳥取民芸) <ul style="list-style-type: none"> 10/30 催行 ・ジオコース(鳥取砂丘・浦富海岸) <ul style="list-style-type: none"> 11/14・11/28 催行 ●乗車人数: 計127人 	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年: 4,159千人

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標（単位）	基準値（H28）	目標値（R3）	R3年度末
27	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業	浦富海岸及び鳥取砂丘エリアを観光周遊するボンネットバスの運行の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●バス愛好家さんこだわりコース（定員10名） 岩美町の写真スポットを巡るコース。 海岸や展望台などに立ち寄る。 ※催行人数不足又は新型コロナウイルス感染症の影響により、全コース催行中止（5/8、9/26） ●アニメの世界へようこそコース（定員10名） 人気アニメのロケ参考地を巡るコース。（11/13、11/14） ※催行人数不足又は新型コロナウイルス感染症の影響により、催行中止（6/26、6/27、7/31、8/1、9/11、9/12） <p><対応状況> 通常定員20名のところを10名とし、感染対策（乗客の事前体調チェック、手指消毒、換気等）を講じながらツアーを企画実施した。新型コロナウイルスの影響で募集できない期間はあったものの、チラシやインターネットを活用して参加者募集を実施した。</p> <p><今後の方針> 引き続き感染対策を講じながら事業実施していく。</p>	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年：4,159千人
28	山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	研修会の開催、案内看板の設置、リーフレットの作成等を行い、山陰海岸ジオパークの普及・啓発を行う。また、ジオガイド研修会等を開催し、ジオガイドの養成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●山陰海岸ジオパークの見どころをPRするまるごと体感マップ、ジオパークリーフレット、散策モデルコース等の作成。ジオサイトに設置された案内看板の整備。 ●ガイド交流会の実施 新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年：4,159千人
29	観光大学運営・活用事業	圏域内のホスピタリティー向上に向け、鳥取市で実施している観光マスター育成制度を圏域内へ拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> ●第17期鳥取市観光大学 受講者：圏域内宿泊事業者等23名 鳥取観光マスター認定者：22名 通算のマスター認定者：544名 日程：令和4年1月5日（水）～28日（金）までの4日間 開校式、座学 2月10日（木）筆記・面接試験 14日（月）実地試験（タクシードライバー対象） 3月1日（火）鳥取観光マスター認定証授与式 17日（木）現地研修 ※感染拡大により延期開催（智頭町、若桜町内） 講義内容：観光の動向、鳥取民藝、コロナ禍のおもてなし、外国人観光客への接し方、食のみやこ鳥取県、鳥取城、麒麟獅子舞日本遺産など 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	観光マスター新規認定者数（人）	40	40	22
30	砂のルネッサンス連携事業	大学生を中心とした砂像選手権の開催や、幼児と保護者を対象とした砂場教育等を通じて、砂像文化・砂文化の醸成を図り、圏域一体の観光振興に取り組む。	<p>鳥取砂のルネッサンス2021</p> <ul style="list-style-type: none"> ○砂の先生育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 砂を活用した遊びを提供できる人材を育成し、砂遊びの上質化を図る。 ・内容 興味ある大学生に対し月1回程度で勉強会を実施。 ○鳥取砂のまつりin賀露 <ul style="list-style-type: none"> ・目的 多くの人の目に触れる会場で砂像を展示し、砂像のまちのブランディングと砂像文化の醸成に寄与する。 ・内容 コロナ禍により集客イベントを中止し、賀露わったいな特設会場で地元市民が制作した砂像を展示。 ・期間 令和3年11月13日～令和3年11月21日 ○すなばようちえん <ul style="list-style-type: none"> ・目的 幼少期から砂に触れる機会を設け、砂遊びなどを通じて砂に関わる人材の育成、砂文化の醸成を図る。 ・内容 砂丘西側エリアで「希望する保育園、幼稚園を対象に実施。（9園、10日間 6/16～11/17） 	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年：4,159千人

イ 高次の都市機能の集積・強化

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I			
					指標(単位)	基準値(H28)	目標値(R3)	R3年度末
31	若者の地元定着促進事業	圏域の高校生を対象にした圏域企業見学会を実施する。	①人事担当者による高校での企業説明会に取組内容を変更 参加高校：鳥取商業高校(3/2：47人)、青谷高校(11/11：58人)、鳥取工業高校(11/16・17：37人・33人)、緑風高校(5/28：17人・12/7：29人)、岩美高校(2/9・17：51人)(5校) ②出張企業説明会参加企業：延べ34社(23社) ③小規模企業見学会(locus) 鳥取西高校1年生(10/6)278名・41社 鳥取商業高校1年生(10/8)153名・36社	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	企業見学会参加人数(人)	650	830	843
32	国際経済交流推進事業	国際的な経済・観光交流促進を目的に設置している「鳥取市国際経済発展協議会」で実施する情報発信や貿易相談サポート等の業務について、支援対象範囲を麒麟のまち圏域に拡大する。	(1) 企業の海外進出及び海外販路開拓等の海外展開に関する貿易相談・サポート →オンラインを活用し、現地とのやり取りをサポートした。 (2) 海外商談会・経済ミッション等支援及びマッチング →新型コロナウイルス感染症の影響により、海外商談会への参加や来訪団体とのマッチングは実施できていない。 (3) 国際観光(通訳等)の推進やインバウンド需要の取り込み。 (4) 翻訳・通訳支援(主に企業・行政等対応) →新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド客の減少により、件数はビフォーコロナ・目標値を大きく下回っている。	A：コロナ禍により中止、影響が大きい	インバウンド需要取り込みに向けた観光パンフレットなどの翻訳支援件数(件)	141	161	26
33	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力事業	鳥取市立病院の初期及び後期研修医師が岩美町国民健康保険岩美病院及び国民健康保険智頭病院において、地域医療研修を行う。	令和3年度は対象となる研修医がいないので医療研修は実施しないが、引き続き研修体制を維持し連携を図っていく。	-	本事業を継続して実施	実施	継続	継続
34	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣事業	地域医療を確保するため、智頭病院の医師が充足していない診療科へ医師派遣を行う。	鳥取市立病院の泌尿器科・外科等の医師が智頭病院で診療している。その他にマンモグラフィの二次読影業務を行っている。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	本事業を継続して実施	実施	継続	継続
35	鳥取市立病院、公立浜坂病院の相互連携事業	鳥取市立病院及び公立浜坂病院の情報共有や相補的な相互連携を行う。	鳥取市立病院の医師(整形外科・総合診療科)を派遣し、公立浜坂病院で診療をしている。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	本事業を継続して実施	実施	継続	継続
36	鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	夜間・休日の1次救急医療体制(内科・小児科)を確保するため、夜間・休日急患診療所の運営を行う。	【委託先】鳥取県東部医師会 【実施場所】東部医師会急患診療所(鳥取市富安1丁目58番地1) 【診療時間】 【夜間】通年(365日)：午後7時から午後10時まで。 【休日】日曜日・祝日、8月13日から8月15日、12月30日から翌年1月3日：午前9時から午後5時まで。 【患者実績】平成28年度 17,000人 平成29年度 17,735人 平成30年度 16,150人 令和元年度 15,865人 令和2年度 5,909人 令和3年度 7,461人	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	急患診療所の開所	開所	継続	継続
37	病院群輪番制運営支援事業	休日の2次から3次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行う。	【実施病院】市立病院、中央病院、生協病院、日赤病院の輪番制 【診療時間】日曜・祝日等の休日(第2土曜日含む)並びに年末年始：午前8時30分～翌日の午前8時30分 【実施日数】平成28年度 82日 平成29年度 83日 平成30年度 83日 令和元年度 88日 令和2年度 83日 令和3年度 83日	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	病院群輪番制の実施	実施	継続	継続

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標（単位）	基準値（H28）	目標値（R3）	R3年度末
38	ドクターカー導入検討事業	鳥取市立病院にドクターカーを配備し、消防署の要請を受けて医師が救急現場に出動したり、搬送途中の救急車と合流することで、迅速に救急患者に対応する。	令和2年度より救急科の専任医師が不在となり、複数の科の医師により救急患者の対応を行っている。後任の専任医師を確保できる見込みは立っておらず、ドクターカーの導入については現時点では検討困難である。	-	研究する	-	研究	研究
39	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	鳥取砂丘コナン空港の利便性向上や利用促進を行う。	「鳥取空港の利用を促進する懇話会」の事業として、新聞・情報誌等への広告掲載、旅行会社への商品造成支援、鳥取砂丘コナン空港を会場に空港利用促進イベントなどを実施。	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	東京便の搭乗者数（人／年）	353,541	400,000	133,515
40	公共交通機関のパスカード、ICカードの発行・運用検討事業	JR・智頭急行・若桜鉄道・日交バス・日ノ丸バス・全但バスなどの公共交通全てで使用可能なICカードの発行・運用に係る各種検討を行う。	■交通事業者、キャッシュレスシステム開発事業者、鳥取県と導入に向けた検討会を実施。（5/13、6/14、6/30、8/3、10/6、12/9、2/3、3/4）	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	研究・検討会議の実施（回）	0	2	8

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
41	山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	関係市町と連携し、山陰新幹線の早期実現をめざし、関係機関への要望活動、啓発活動を積極的に実施。	R3.6.8 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議 総会 ※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、書面開催 ●連携による効果・成果 要望活動の実施など、整備計画格上げに向けた取組を推進した。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	国等への要望活動回数及びシンポジウム等開催回数 (回)	2	2	1
42	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	圏域の活性化に向けて活動する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し地域課題の解決に取り組む。	「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム地域連携推進会議」において、圏域自治体・関係団体等と大学との連携について意見交換を、コロナ禍のためオンラインで2月末に実施。 【鳥取市】 「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」の活動拠点である「まちなかキャンパス」での大学の地域貢献活動事業は、コロナ禍のため今年度は学内向けの事業（プロジェクト研究、大学院生授業等での利用）のみ実施。 【岩美町】 公立鳥取環境大学の整備した「むらなかキャンパス」ではコロナ禍のため今年度は学内向けの事業（ゼミ活動等での利用）のみ実施。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と関係市町との連携事業数 (事業)	2事業 (1市1町)	全市町で1事業以上実施	2
43	看護・医療系人材の育成・確保事業	看護職員実習指導者の養成に努めるとともに、看護職員実習指導者の養成のための支援を行う。	【事業詳細】 県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関（県立の病院等は除く）に受講者の受講期間（約2か月）の基本給の一部を補助。 【補助対象実績】 平成28年度 13人 平成29年度 13人 平成30年度 13人 令和元年度 3人 令和2年度 0人（※コロナ感染拡大により中止） 令和3年度 7人	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	看護職員実習指導者養成講習会の受講者数 (人/年)	13	12	7
44	医療への関わり方の圏域住民への周知事業	医療の関わり方などについて、講演会等を開催し住民に周知する。	例年の講演会形式による市民医療講演会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止し、ケーブルテレビ放送や動画共有サービスにより地域住民が講演内容を視聴できるようにする。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	継続して実施する。	実施	継続	継続
45	病児・病後児保育事業	就労等により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に利用するための各市町の病児・病後児保育施設を、圏域内での相互利用が可能となるよう広域化を図る。	広域利用の実施状況（鳥取生協病院、病児保育室とくよし、コモド第三保育園瓦町） 令和3年4月から令和4年3月までの実績 ・利用者数 111人 八頭町 81人（生協病院42人、とくよし39人） 岩美町 25人（生協病院25人） 新温泉町 5人（生協病院5人） ・利用回数 111回	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	本事業を継続して実施	実施	継続	継続
46	障がい者歯科診療所運営支援事業	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児（者）の歯科保健指導・歯科診療を行う鳥取県口腔総合保健センターの安定的な運営を支援することで、障がい児（者）の口腔健康の維持・向上を図る。	・障がい者歯科診療事業 毎週木曜日の午後診療を行う。（医師2名体制） 延べ利用者数：（4～3月）606名（圏域全体の数字） 【内訳】鳥取市511名、岩美町30名、八頭町36名、智頭町0名、若桜町4名、新温泉町20名、倉吉市5名 ・口腔疾患予防処置及び歯科相談診療 毎週火曜日の午後15時からフッ化物塗布、初期う蝕（虫歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行う。 延べ利用者数：（4～3月）30名（圏域全体）	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	継続して実施する。	実施	継続	継続
47	圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	圏域内における医療や介護の連携を強化し、住民の意向が強い在宅療養を推進するための地域資源の連携・活用に取り組む。	●鳥取県東部1市4町は協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施。（全8項目を実施中） ●新温泉町及び香美町を含めた1市6町で、病院や介護施設でも使用できるACPノート（改訂版）を共同作成し、ACPの普及啓発を共同実施。 ●鳥取県東部で実施されたACPノート研修会への美方郡関係者の参加。 ※コロナの影響により、参集しての課題検討する会議及び研修会の開催が出来ないが、現在はZOOMを導入し開催している。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	在宅医療・介護連携推進事業の実施（実施事業数）	全8事業	全8事業	全8事業

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I			
					指標(単位)	基準値(H28)	目標値(R3)	R3年度末
48	社会福祉協議会各種相談事業	社会福祉協議会が実施している各種相談事業(法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等)について、圏域の住民を対象を広げて相談を受け付ける。	社会福祉協議会が実施している各種相談事業(法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等)について、圏域の住民を対象を広げて相談を受け付けている。連携町社会福祉協議会を通じて住民へ周知を行う。	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	社会福祉協議会各種相談件数(件/年)	118	110	395
49	鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取県東部聴覚障がい者センターを活用し、圏域内で均衡した聴覚障がい者の社会参加促進を支援する。	【聴覚障がい者意思疎通支援事業】 手話通訳者派遣(4~3月)3,230件(圏域全体の数字) 内訳: 鳥取市3,127件、岩美町5件、八頭町33件、智頭町65件、若桜町0件 要約筆記者派遣(4~3月)100件(鳥取市98件、岩美町2件) 【手話奉仕員養成研修事業】 37名申込 【聴覚障がい者生活支援事業】 月2回 延べ参加者数: 326名(圏域全体)	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	手話奉仕員養成研修受講者数(人/年)	34	34	37
50	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	障がい児等への支援を行う保育者等に対し、療育を含めた各地域における障がい児等支援に関する理解を深める。	●地域療育関係職員研修会を3月に実施予定であったが、新型コロナウイルスの急速な拡大から中止。次年度以降、開催時期や方法等について検討のうえ実現を目指す。 ●今夏に予定していた児童発達支援センター若草学園における参加型公開療育の実施は、新型コロナウイルスの急速な拡大から中止。次年度以降、開催時期や分散実施等について検討のうえ実現を目指す。 ●1月に予定していた地域療育セミナーは、新型コロナウイルスの急速な感染拡大と、コロナ渦における講師派遣の見合わせから中止。次年度、オンライン形態を柱に開催時期や分散実施等について検討のうえ実現を目指す。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内(回/年)	2	3	0
51	点訳朗読奉仕員養成研修事業	視覚に障がいのある方の福祉に理解と熱意を有する方に、点訳・朗読の指導を行い、奉仕員を養成する。	【点訳奉仕員養成講習会】 受講者実人数: 4名 内訳: 鳥取市4名 【朗読(音訳)奉仕員養成講習会】 受講者実人数: 9名 内訳: 鳥取市6名、八頭町1名、倉吉市1名、琴浦町1名	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	点訳朗読奉仕員養成講座受講者数(人)	5	5	13
52	地域活動支援センター事業	障がいのある人が、地域活動支援センターで創作活動や生産活動、社会との交流活動等を行うことにより社会参加を促進し、その能力や適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。 サマーハウスが、創作活動や社会との交流の場等として設置する地域活動支援センターの運営を支援する。	生活支援事業、相談事業、地域交流活動、その他地域生活支援事業を行っている。 延べ利用者数: (4~3月)4,074人(圏域全体) 鳥取市以外の利用者は約1割	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	年間延べ参加者数(人)	6,500	6,500	4,074
53	地域食堂支援事業	地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組む「地域食堂(こども食堂)」とそれを支援する各団体を結びつける役割を担う「鳥取市地域食堂ネットワーク」を中間支援組織として強化し、広域的かつ効果的な支援を行うための事務局体制の確立・強化を図る。 ※「地域食堂」とは、子どもを中心に地域の様々な人々が集う居場所となる食堂	地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組む「地域食堂(こども食堂)」とそれを支援する各団体を結びつける役割を担う「鳥取市地域食堂ネットワーク」を中間支援組織として強化し、圏域において効果的な支援を行うための事務局体制の確立・強化を図ってきた。 令和3年度は、民間資金を活用して、全国各地から届く食材等を圏域内への配布するために拠点となる場所へ業務用冷蔵庫・冷凍庫等を設置するとともに、圏域の関係者の協力を得て物流ネットワークの構築を図ってきた。 拠点整備箇所: 新温泉町、鳥取市河原町、鳥取市気高町 ※「地域食堂」とは、子どもを中心に地域の様々な人々が集う居場所となる食堂	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	地域食堂ネットワークで支援する「地域食堂(こども食堂)」数	4	26	25
54	博物館施設等活用連携事業	小中学校児童生徒の圏域内学習に寄与するため、圏域内博物館施設を学校教育や子どもたちの体験学習へ活用する。	令和3年度の実施件数は8件。事業は鳥取市内の学校には定着してきているが、連携中枢都市圏内の他町からの要望は見込めない。 実績: 北中学校、明治小学校、東郷小学校、若葉台小学校、用瀬小学校、国府東小学校、鹿野学園流沙川学舎、瑞穂小学校	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	博物館施設等活用連携事業実施回数(回/年)	0	6	8
55	圏域の文化財情報連携事業	圏域各市町が連携して、圏域内全体の文化財情報を通覧できるようにする。	文化財情報をホームページへ掲載するため、情報の収集や整理を行った。鳥取市において「歴史文化基本構想」が完成し、基盤となる鳥取市分の文化財情報を掲載するための準備ができた。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数(件)	3,000	3,300	0

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
56	森のようちえん運営・活用事業	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組む。	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組んだ。	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数 (人)	47人 (H22~26)	120	110
57	麒麟のまち交流スポーツ大会事業	各市町又は圏域内市町間で行っているスポーツ大会を、圏域全体に参加対象を広げるにより、スポーツを通じた地域間の交流を図る。 鳥取市: プロポーザルによる事業決定 新温泉町: 新温泉町スポーツレクリエーション記録会	【鳥取市】 「麒麟のまちスポーツ振興事業補助金」について、スポーツ事業を公募し、令和3年6月4日に審査会を実施。2件の事業を採択した。 ○第2回麒麟のまちBEACH SOCCER GAMES 令和4年3月26、27日 参加: 518人 (鳥取市392、岩美町24、八頭町22、香美町12、新温泉町68) ○麒麟のまちジュニアバドミントン大会～藤井瑞希カップ (バドミントン大会) 令和3年12月11日 (土) 開催 参加: 約342人 (鳥取市320、岩美町6、若桜町4、智頭町4、八頭町5、香美町2、新温泉町1) 【新温泉町】 ○新温泉町スポーツレクリエーション記録会 令和3年12月4日 (土) 開催 33人	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	参加者数 (人)	159	350	893
58	国際理解推進交流事業	鳥取市に配置の国際交流員 (ドイツ担当1人、韓国担当1人、中国担当1人) が市民向けに行っている国際理解講座 (料理教室、文化の紹介、語学等の講座) を6町で希望する団体等へも広げ、圏域全体における国際理解の推進を図る。	◆事業実績 小学校・公民館などの講座に派遣 講座回数: 41回 (3月末現在)	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数 (回)	87	106	41
59	公共図書館の相互利用事業	圏域内に居住している人はだれでも、圏域内の各公共図書館で資料が借りられる相互利用を行う。圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化を図る。(ただし、利用者が各館に出向き貸出・返却を行うこととする。また、マイナンバーカードを図書カードとして活用することについては、引き続き検討する。)	①香美町加入 (令和2年4月1日) により、広報チラシを新たに作成し、周知を図った。 ②各館の利用案内を設置し、周知を図った。 ③圏域内で開催される研修に参加し、職員のスキルアップを図った。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	在住外登録者の利用冊数 (総人口100人当たり) (冊)	8.7	9.6	12.8
60	野生鳥獣被害防止事業	鳥獣被害防止対策連絡調整会議を開催するとともに、侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を行う。	【鳥取市】 侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援 【岩美町】 捕獲奨励金、侵入防止柵、捕獲器具購入等に対する支援を実施 【若桜町】 捕獲奨励金、侵入防止柵、カラスの一斉捕獲、鳥獣捕獲、捕獲管理、クマ出没対応等に対する支援 【智頭町】 捕獲奨励金 ニホンジカ475頭、イノシシ40頭 一斉捕獲 カラス14羽 【八頭町】 鳥獣捕獲数 (R4.3月末 見込み) ○イノシシ 530頭 ○シカ 2,332頭 侵入防止柵設置 (R4.3月末) ○電気柵 810m ○ワイヤメッシュ柵 4,642m 【香美町】 捕獲奨励金、侵入防止柵に対する補助、捕獲器具購入に対する補助、狩猟免許取得に対する補助 【新温泉町】 侵入防止柵、捕獲奨励金、捕獲器具導入補助、新規免許取得者及び既存免許取得者に対する補助、狩猟期処理加工施設搬入補助	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	年間被害面積 (a)	3,361	3,183	1,474
61	射撃場整備・管理運営事業	農作物に被害を与える野生鳥獣の捕獲のための射撃練習や射撃講習ができる射撃場を整備し、銃猟者を育成・確保する。	東部圏域に銃猟者の技能講習が可能な射撃場 (捕獲技術高度化施設) 鳥取クレー射撃場の運営	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	鳥取クレー射撃場利用者数 (人/年)	420	450	899

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
62	いなばのジビエ推進協議会支援事業	猪や鹿等の有害鳥獣をジビエとして有効活用するため、先進事例研究やイメージアップ及び消費拡大に向けた取組を行う。	解体処理研修 (4回 42人)、狩猟者育成研修 (5回 47人) 料理教室 (7回 66人)、クラフト体験他 3回 33名 ジビエフェアへの参加 消費券149枚 アンケート69人 コロナ禍により県外へのPRイベントを行っていない。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	いなばのジビエ推進協議会主催イベント入場者数 (人/年)	20,000	24,000	406
63	グリーンツーリズム推進事業	都市住民との交流、グリーンツーリズムに取り組んでいる地域・団体が構成するグリーンツーリズム連絡会等の活動やそれぞれの地域活動を支援する。	【鳥取市】 R3年10月25日 鳥取市グリーンツーリズム連絡会主催で令和3年度鳥取市グリーンツーリズム連絡会研修会開催 参加者12名 【香美町】 実績なし 【新温泉町】 R4年2月下旬の大阪ボーイスカウト協会モニターツアー実施予定に向け協議を行ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止。R3年度の活動はホームページの修正、更新のみ。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	グリーンツーリズム関連団体が主催する体験事業の参加者総数 (宿泊を伴うもののみ) (人)	1,485	2,300	440
64	森林セラピー事業	智頭町の90%以上を占める森林資源を活用し、住民の健康増進はもとより、都市住民との交流・誘客・企業提携などによる地域の活力創造と、疎開の町としての癒しの里づくりを進める。	【鳥取市】 実績なし 【智頭町】 企業の新人職員研修として、間伐・森林セラピー・民泊等を通じて智頭町で暮らす人々と交流する体験型研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止とした。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	森林セラピー導入企業数 (社)	0	1	0
65	麒麟のまち創生戦略会議運営事業	麒麟獅子文化をはじめとする、さまざまな文化・歴史を共有する、因幡と但馬地域のそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図る。 (構成市町: 鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町)	○令和3年6月1日: 麒麟のまち創生戦略会議を開催。 新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施に関する協定締結、地方創生推進交付金、日本遺産「麒麟のまち推進協議会」、一般社団法人 麒麟のまち観光局、多様な広域連携促進事業 (総務省委託事業) について首長協議を実施。 ○令和3年11月8日: 麒麟のまち創生戦略会議・サミットを開催。 日本遺産「麒麟のまち推進協議会」、一般社団法人 麒麟のまち観光局、多様な広域連携促進事業 (総務省委託事業)、連携中核都市圏事業の取組状況・見直し等について首長協議を実施。 サミットテーマ「新型コロナウイルス感染症からの復興と再生」 ○令和4年2月8日: 麒麟のまち創生戦略会議を開催。 新型コロナウイルスワクチンの追加接種における共同実施体制、日本遺産「麒麟のまち推進協議会」の取組状況、因幡・但馬麒麟のまち連携中核都市圏ビジョンの事業 (進捗状況、地域食堂支援事業)、R3多様な広域連携促進事業 (総務省委託事業)、第2期因幡・但馬連携中核都市圏ビジョン策定スケジュール、R4地方創生推進交付金事業について首長協議を実施。	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	サミット開催数 (回)	1	1	1
66	地域づくり活動発表会開催事業	各地域の地域づくり活動を行う団体・者の取組状況の発表や意見交換の場を設定し、活動の成功例・失敗例、課題問題点などの情報共有を進めることで、地域が連携した地域活動の推進を図るとともに、地域相互間の往来を促す取組を行うことで、地域周遊ラインの形成を図る。 (例: 地域産品を活用した特産品開発について、情報交換の場で違う視点での意見を交え、意見交換してブラッシュアップを図り商品化につなげる等。)	とっとりふるさとリーダーアカデミー成果発表会を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	参加団体数 (回)	0	15	14
67	圏域防災力の向上事業	圏域内における防災情報連携により「自助・共助・公助」それぞれの機能を促進させ、圏域防災力の向上に取り組む。 【平成30年度の主な取組】 ●災害時相互応援協定の締結 ●自主防災組織等を対象とした圏域内合同防災研修会の開催 (共助連携) ●防災備品・備蓄品の情報連携 (公助連携) ※31年度以降の連携内容については、ミサイル等武力攻撃事態に関するオリジナル広報等の製作や防災マップ等の情報連携発信等を予定している。	○令和3年11月30日 各町防災担当職員合同研修実施 (鳥取市主催の「鳥取市防災リーダーフォローアップ研修」に参加していただいた。)	C: コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	防災情報連携事業数 (事業)	0	2	1

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
68	ごみ減量化推進事業	ごみに対する啓発事業を各市町で連携して行っていく。また、生ごみ堆肥化容器の購入促進等の具体的な減量化の取り組みを行い、家庭から排出されるごみの減量化を図る。	<p>【鳥取市】生ごみ堆肥化容器購入補助 19件：55,800円 生ごみ堆肥化基材購入補助 23件：44,200円 段ボールコンポスト講習会 2回</p> <p>【岩美町】コンポスト購入補助：7件：17,200円 生ごみ処理機購入補助：6件：130,600円</p> <p>【若桜町】電動生ごみ処理機購入補助(モニター)：1件：30,000円 電動生ごみ処理機購入補助：1件：20,000円 コンポスト購入補助：1件：3,500円 ポカシ水肥専用容器購入補助：4件：5,200円</p> <p>【智頭町】生ごみ処理機購入補助：2件 20,000円 生ごみ分別収集：60 t</p> <p>【八頭町】コンポスト購入補助：1件 生ごみ分別収集：220 t</p> <p>【新温泉町】新温泉町生ごみ自家処理機購入費補助金 コンポスト購入補助：4件10,254円 電気式生ごみ処理機購入補助：6件150,000円</p>	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	可燃ごみの処理量 (t)	61,612	59,095	58,321
69	J R山陰本線利用促進事業	山陰本線の利用促進や利便性の向上を図るための取組や要望活動を行うとともに、沿線地域の活性化を図る。	<p>【鳥取市・岩美町】 「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（事務局：県交通政策課）」として、山陰本線を利用した旅行に係る経費支援を実施。</p> <p>【新温泉町】 1. 連携事業 ①山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会として、事業を実施 ②兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会として、事業を実施 ③駅前レンタサイクル利用補助事業のチラシ配布とHP掲載</p> <p>2. 新温泉町の取組 ①鉄道グッズ館「鉄子の部屋」の管理運営（R4.3末をもって閉館） ②浜坂駅構内図書スペース「みんなの文ちゃん文庫」の維持管理 ③職員e-出張事業 ④浜坂駅トイレの維持管理 ⑤汽車通学定期券購入費補助（町内中学校に通学する生徒を対象） ⑥鉄道遺産群パンフレットの配布</p> <p>【香美町】 1. 連携事業 ①山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会として、事業を実施 ②兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会として、事業を実施 ③駅前レンタサイクル利用補助事業のチラシ配布とHP掲載</p> <p>2. 香美町の取組 ①駅トイレ、駐輪場等の維持管理</p>	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	山陰本線（佐津～青谷間）の乗客数（千人/年）	3,856	4,110	2,819人（東浜～青谷間） ※R3実績より、佐津～居組間は非公表
70	智頭線・因美線利用促進事業	智頭線や因美線の利便性向上や利用促進等の事業を行い、沿線地域の活性化を図る。	■「智頭線利用促進協議会（事務局：県交通政策課）」として、利用促進に関するチラシを作成し配布。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	因美線（鳥取～那岐）、智頭線（智頭～山形）の乗客数（千人/年）	3,345	3,350	2,283
71	広域バス路線等運行支援事業	圏域内における広域的なバス路線、また主要なバス路線や鉄道等と連携して運行する地域交通バスに対する支援を行う。合わせて、鉄道と路線バス、各市町運営バス等との接続の利便性を向上させるため、所要の調整を行う。	<p>【鳥取市】 圏域内で運行されている路線バスの運行事業者に対し、運行経費の一部を支援する。</p> <p>【各町】 各町と鳥取市を結ぶ路線バスの維持のため、バス事業者に対して運行経費の一部を支援する。</p>	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	路線バス利用者数（人/年）	2,733,000 (H30)	減少抑制年5%以内	▲3.1% (2,262,444人)
72	若桜鉄道利用促進事業	若桜鉄道の利便性向上や利用促進のためさまざまな取組を行う。 ①若桜鉄道利用促進 若桜鉄道利用促進実行委員会が行うシルバー回数券への助成、ミニ時刻表の作成等の若桜鉄道の利用促進事業や観光ツアーの誘致等の観光振興事業に対して支援を行う。 ②若桜鉄道観光列車運行事業 観光列車「昭和」の整備と、周辺市町と連携したツアー商品の造成やグッズ開発、観光施設等のPRを行う。	<p>【鳥取市】 「若桜鉄道利用促進実行委員会（事務局：若桜町）」が中心となって、イベント助成や観光列車を活用した商品開発等に対する助成等を実施</p> <p>【若桜町】 ・シルバー回数券・免許返納者への助成を実施 ・観光列車を活用したツアー造成及びPR活動を実施 ・通学定期の助成を実施 ・ミニ時刻表の全戸配布を実施（10月、3月） ・観光列車オリジナルグッズの開発、製作 ・アフターコロナに向けたツアー商品造成、駅周辺整備、わかつて応援ソングCDを制作</p> <p>【八頭町】 ・ミニ時刻表の作成、全戸配布を実施（10月、3月）また、若桜鉄道沿線各駅で開催されるイベント等への運営助成を実施（5件） ・鳥取県が行う通学費助成のほか、補助対象基準外についても通学費助成を実施 ・観光列車を軸にして、観光ツアーの誘致並びにツアー商品造成等を実施 ・若桜鉄道臨時貸切列車利用料を無料にするキャンペーンを実施し、鉄道を軸とした周遊促進事業を展開 ・若桜町と共同で「若桜鉄道感謝祭（12/5）」を実施</p>	B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	若桜鉄道の乗客数（人/年）	325,000	410,000	377,972
73	麒麟のまちを巡る交通網の整備検討事業	圏域を移動できる交通機関の整備充実と高規格道路開通を見据えた高速バスの運行を検討する。 ※各事業者との調整、ニーズ把握などを踏まえ事業化を研究。	■交通政策担当者会（5/25）において、圏域の高速バス運行の必要性等について意見交換を実施。	D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	要望活動数（回）	4	4	3

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
74	JR鳥取駅周辺の広域交通結節機能の向上促進事業	JR鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の広域交通結節点と位置づけ、施設整備及び機能強化・充実を図る。	■鳥取県東部バス路線図の案内番号設定を踏まえ、鳥取バス協会やバス事業者と連携し、鳥取バスターミナルの各種サインの改修を行った。(9月末完成)	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	機能強化・充実件数(回)	0	1	1
75	持続可能な生活交通等の維持・確保対策事業	将来にわたり持続可能な生活路線バス等の維持・確保に向けた様々な取組を行う。	■自家用車による通勤から路線バスを中心とした公共交通機関を利用した通勤に転換を図るためのイベント、キャンペーン等を実施。 ・麒麟のまち「ノルデ運動」(R3.9.1~R4.3/31) ・とっとり交通フェスタ(R3.11.28) ■自動運転技術を活用した新たな移動サービスの提供に向け、実証実験を実施。(R4.2.18~3.8) ■交通政策担当者会(5/25)において、各地域での生活交通の維持・確保に向けた取組状況について情報共有を行った。	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	路線バス利用者数(人/年)	2,733,000(H30)	減少抑制率5%以内	▲3.1%(2,262,444人)
76	I C Tインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	CATVのコンテンツとして、各市町の話題・イベント情報をお互いに情報発信することで地域間の交流を促進させる。	【鳥取市】 広報番組「とっとり知らせたい!」の中で「麒麟のまち放送局」として各町からの提供映像を紹介。毎週1つの町を放送、時間は5分程度。 【新温泉町】 3市町分まとめて毎日繰り返し放送。1日3回。 【八頭町】 3市町分まとめて毎日(3回程度)繰り返し放送。 【岩美町】 月末の土日に3市町分をまとめて放送。1日2回。	D: 計画どおり実施、もしくは実施見込み	CATVでの相互放送(継続実施)	実施	継続	継続
77	I C T関係機器・データ等の共同調達事業	関係市町村と連携し、共同でI C T関連機器・データ・アプリケーション等の共同調達を行う。※共同調達の対象は鳥取県I C T協議会等での調達対象外となったものなどを対象とする。	鳥取県市町村I C T共同化推進協議会において、当協議会での取り扱い案件の整理がなされた。今後は、当協議会で除外されたシステム等について連携市町と協議し、共同調達の可能性を模索していく。(R3年度)研修の共同開催を実施「オープンデータ研修」(令和4年1月)の予定であったが、コロナウイルスが再度蔓延したため、研修そのものを延期とした。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	共同調達案件数(回)	0	1	1
78	武蔵野市家族自然体験交流事業	鳥取県主催の武蔵野市の家族受け入れ(自然体験交流)事業に参画し、地域の特色ある資源を活用した都市との交流事業を実施する。	R3は実施なし(隔年開催のため次回はR4年度)	-	受入人数(人)	175	0	0
79	若者定住促進事業	婚活サポートセンターを活用し、圏域内外の独身男女の出会いの機会を提供する。また、圏域で実施する婚活イベントや婚活サポートの情報共有と事業の連携を行うとともに、若者が集う場の創出を図る。	平成31年3月から会員対象を麒麟のまち圏域に拡大し、「麒麟のまち婚活サポートセンター」として事業実施。新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら、毎月4回程度のイベントを行っている。3月末までに、婚活相談会や交流会を含むイベントを51回(対面式31回、オンライン20回)開催。R3年度の麒麟のまち圏域各町での開催のイベントは以下のとおり。 ○10月23日(土) 八東総合運動公園(八頭町) ○11月6日(土) 楽之ノ藍染工房ちずぶる(智頭町)	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域目標人口(人)	265,499	252,796	249,145
80	麒麟のまち移住相談会開催事業	都市部で開催される移住相談会への共同参加や、関西情報発信拠点施設「麒麟のまち」などを活用した相談会を共同開催する。	ふるさと回帰支援センター主催の全国規模の移住相談会に合同で出展し、圏域への移住を呼びかけた。 ▼おいでや!いな暮らしフェア2021 7月1日~7月31日情報発信期間、8月1日一斉移住相談DAY(大阪) 麒麟のまち圏域としてオンラインのみで参加。 ▼ふるさと回帰フェア2021 10月17日開催(東京)今年度は対面開催のみのイベント(昨年度はオンライン開催)となり、1市6町の意見を集約した結果、参加を見送ることとした。 ▼いなスタ2022 1月23日開催(大阪) 1市5町で出展申込みを行ったものの、コロナ拡大を受け開催中止となった。	B: コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	各市町への移住者数(人)	383	619	780
81	移住体験ツアー開催事業	圏域への移住定住の促進を目的に、圏域を巡る移住体験ツアーを開催する。	夏季に麒麟のまち圏域を巡る「関西情報発信拠点「麒麟のまち」発ワーホリバスツアー(仮称)」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により「中止」とした。	A: コロナ禍により中止、影響が大きい	各市町への移住者数(人)	383	619	780

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ対応状況	K P I			
					指標(単位)	基準値(H28)	目標値(R3)	R3年度末
82	圏域移住促進事業	圏域各市町の「地域の魅力・お試し住宅・空き家・移住イベント・旬の話題・募集」等の情報を集約し、WEB上で一元的に発信することで圏域としての移住ブランド力を高め、圏域への移住促進を図る。	令和3年度、鳥取市移住定住専用ポータルサイトを構築。鳥取市の移住定住に関する情報に加え、麒麟のまち圏域の魅力や空き家情報などの移住関連情報を発信するコンテンツも作成し、令和4年4月8日(金)オープンした。	D:計画どおり実施、もしくは実施見込み	各市町への移住者数(人)	368	619	780
83	鳥取すごい!ライド支援事業	大規模サイクリングイベント「鳥取すごい!ライド」(主催:鳥取すごい!ライド実行委員会)の運営支援を行い、鳥取市と周辺町村との連携により、自転車を活用した周遊観光の取組を推進する。	【令和3年度】 実施日:令和3年10月17日(日) 「鳥取すごい!ライド2021」開催 会場:かろいち(スタート/ゴール) コース:ロング115km、ショート65km エイド:①浦富海岸島めぐり遊覧船のりば ②鳥取市立稲葉山小学校 ③隼lab. ④OOE VALLEY STAY ⑤RICHIO ⑥吉岡温泉一乃湯 参加者:279名	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	鳥取すごい!ライドの参加者数(人)	534	600	279
84	広報誌リレー記事掲載事業	連携事業の周知を図る目的で、リレー記事方式で連携他市町の情報を掲載	平成30年12月号より隔月にて連携他市町の情報を「麒麟のまちインフォメーション」として、各市町の広報誌へ掲載。 【掲載内容】イベントや事業への参加者募集、紹介など(圏域住民の交流が深まるもの) 【掲載順序】4月:香美町、6月:鳥取市、8月:智頭町 10月:若桜町、12月:八頭町、2月:岩美町	D:計画どおり実施、もしくは実施見込み	掲載回数(回)	2	6	6
85	圏域全体のエリアプロモーション事業	圏域全体のCM作成等の、エリアプロモーション事業を行い、圏域ブランド周知・定着を図ることで、観光客誘致や移住定住の促進につなげる。	【観光・ジオパーク推進課】 ○令和3年11月1日に(一社)鳥取市観光コンベンション協会の運営する観光ホームページをリニューアル。令和4年度は圏域内の各町の観光情報を一体的に発信する予定。 ○欧・米・豪に誘客層を絞った羽田-鳥取訪日外国人旅行者誘致事業(Odyssey JAPAN)を実施し、特設ページを通じて圏域の観光情報を発信。 ○麒麟のまち圏域の魅力ある観光情報を発信するため観光・ジオパーク推進課公式Instagram『tottoco official(トットコ オフィシャル)』を開設し、運用中(R4.3現在、フォロワー数1,425人)。 ○コロナ禍における安全・安心な観光をテーマに人気俳優の竜星涼さんを起用し観光資源を紹介する電子旅行雑誌「旅色FO-CAL」を制作。令和4年2月10日に圏域各市町や観光協会のホームページを通じて公開。 【政策企画課】 ○「食べる!麒麟のまちグランプリ」として、圏域内の飲食事業者による「麒麟のまち」をテーマにした新メニューやアレンジメニューの開発を促進することで、地域の活性化を図った。【販売・投票期間10月20日~12月10日、参加店舗数39店、一般投票数1,801票】 第2段の企画としてグランプリ参加店舗をめぐる「もっと食べたい!麒麟のまちスタンプラリー」を開催。 【開催期間1月10日~2月20日、参加店舗数34店、応募ハガキ枚数139枚】	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	圏域への観光入込客数(人)	4,764,000	7,450,000	未確定 ※鳥取県の発表する観光動態調査の数値をもとにしており、県の発表が次年の8月頃。 【参考】令和2年:4,159千人
86	合同職員研修事業	圏域内職員の資質・能力向上を目的に、合同で職員研修を実施する。また、各市町で実施する独自研修、講演会等の情報共有を図り、相互に職員の受け入れを可能とする体制をつくる。	合同職員研修実施状況 令和3年度は、CS向上研修・OJT研修・キャリアアップ研修・新規採用職員研修・コンプライアンス研修を実施予定であったが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から実施を見合わせた。合同職員研修は人事交流も目的の1つであり、集合研修での実施を目指しているが、この状況が継続するようであれば来年度はオンライン研修への移行も検討していくこととしている。	A:コロナ禍により中止、影響が大きい	圏域内全職員数に占める合同職員研修受講者割合(%)	23	25	0
87	職員交流検討事業	圏域内職員の行政マネジメント能力向上、専門分野の知識習得、情報共有のため、各市町の先進的な取組を学ぶ機会(勉強会等)を設ける等の人事交流の実施を検討する。	合同職員研修担当者会(職員交流検討会) 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、10月に書面にて担当者会議を開催。圏域内の市町から研修の取組内容や合同研修への要望等について取りまとめ情報共有を図った。	C:コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	検討会議の開催(回)	0	1	1
88	麒麟のまち圏域地域おこし広域隊設置事業	麒麟のまち圏域全体を活動範囲とした「地域おこし協力隊」の設置。 各市町の地域おこし協力隊員とのネットワークを構築し、圏域全体の活性化の取組などの強化を図る。 各市町の共通して抱える諸問題に対し、協力隊を配置することが効果的であると考えられる業務及び隊員の配置について検討していく。	各市町の地域おこし協力隊とのネットワーク構築のため、情報交換会の実施を検討していたがコロナ禍の中実施できていない。 今後は、オンライン(ビデオ会議)などを活用して、まずは圏域内隊員のネットワーク構築と情報共有の促進を図っていきたい。	B:コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	隊員による圏域の各種情報等の情報共有連絡会の開催回数(回)	0	4	0

No.	事業名	事業概要	実績	コロナ 対応状況	K P I			
					指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (R3)	R3年度末
89	男女共同参画推進事業	令和2年4月に鳥取大丸5階へ移転した鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」を情報発信拠点として、1市6町の男女共同参画に関する取組を紹介するとともに、啓発講座の共同開催など、圏域内の男女共同参画社会の実現を目指して連携した取組を進める。	令和3年度事業実績 ①講座名：ワーク・ライフ・バランス講座 開催日：令和3年5月12日（水） 連携団体：鳥取市（29名）、智頭町（16名） ②講座名：LGBTと地域 開催日：令和3年10月23日（土） 連携団体：鳥取市（27名）、若桜町（6名）、八頭町（6名） ③講座名：男女共同参画の視点から考える防災セミナー 開催日：令和3年12月18日（土） 連携団体：鳥取市（43名）、若桜町（6名）、八頭町（3名） ④講座名：第1回目 ジェンダー平等について考える 開催日：令和4年1月22日（土） 連携団体：鳥取市（10名）、八頭町（6名）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	連携講座の開催回数	0	2	4
90	公共施設点検研修の共同実施事業	圏域市町の施設管理担当職員を対象に、公共施設点検研修を実施する。	各自治体における建物点検、住民の安全確保に役立てていただくことを目的として、鳥取市の技術職員による『事務職員でも実施可能な建物点検についての実地研修』を実施 実施日：令和3年6月29日、30日 場所：国府町コミュニティセンター 参加者：20人（うち岩美町1人、香美町1人）	C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	公共施設点検研修の実施回数（回）	2	2	2

コロナ対応状況について

対応状況	R3年度末時点	【参考】R2年度末
A：コロナ禍により中止、影響が大きい	15	23
B：コロナ対応をしながら一部のみ実施、影響は中程度	31	29
C：コロナ対応をしながら実施、影響は小さい	22	19
D：計画どおり実施、もしくは実施見込み	19	17
その他	3	2
	90	90

R3KPI達成率	事業数
達成又は100%以上	38
75～100%未満	12
50～75%未満	12
25～50%未満	5
0～25%未満	12
未確定	10
R3実施予定なし	1
合計	90